

平成 19 年 11 月 19 日

6 号機原子炉建屋内における水漏れに関する調査結果について

平成 19 年 10 月 25 日、定期検査中の 6 号機原子炉建屋 5 階にあるプリコートタンク*¹室内において、換気空調用排気管のつなぎ目から水が滴下していることを、当社社員が発見しました。

現場を調査したところ、同建屋 6 階に設置した機器を洗浄する装置の排水ホースが、本来、使用済燃料プール壁面上部にあるスキマーサージタンク*²流入口に導かれているべきところ、同壁面上部の当該排気管の吸込口に導かれていることを確認しました。このことから、当該装置の排水が当該排気管に流入し、排気管のつなぎ目から滴下したものと判断しました。

なお、漏れた水の量は約 6.3 リットル、放射エネルギーは約 3.1×10^6 ベクレルで、拭き取りによる清掃を実施しました。

これによる外部への放射能の影響はありません。

(平成 19 年 10 月 26 日お知らせ済み)

調査の結果、誤って排水ホースを換気空調用排気管の吸込口に導いてしまった原因は、次のとおりでした。

- ・機器を洗浄する作業の責任者は、使用済燃料プール壁面に換気空調用排気管の吸込口があることは認識していたが、当該吸込口はスキマーサージタンクにつながっているものと思い込んでいたため、作業員に対して、当該吸込口に排水ホースを導くよう指示を行ったこと。
- ・機器を洗浄する作業の施工要領書に、排水ホースを導く場所が記載されていなかったこと。

対策として、当該作業の施工要領書にスキマーサージタンク流入口と換気空調用排気管の吸込口の場所を記載するとともに、今後、スキマーサージタンク流入口に排水する場合は、当社社員が立ち会い、確認を行うこととします。

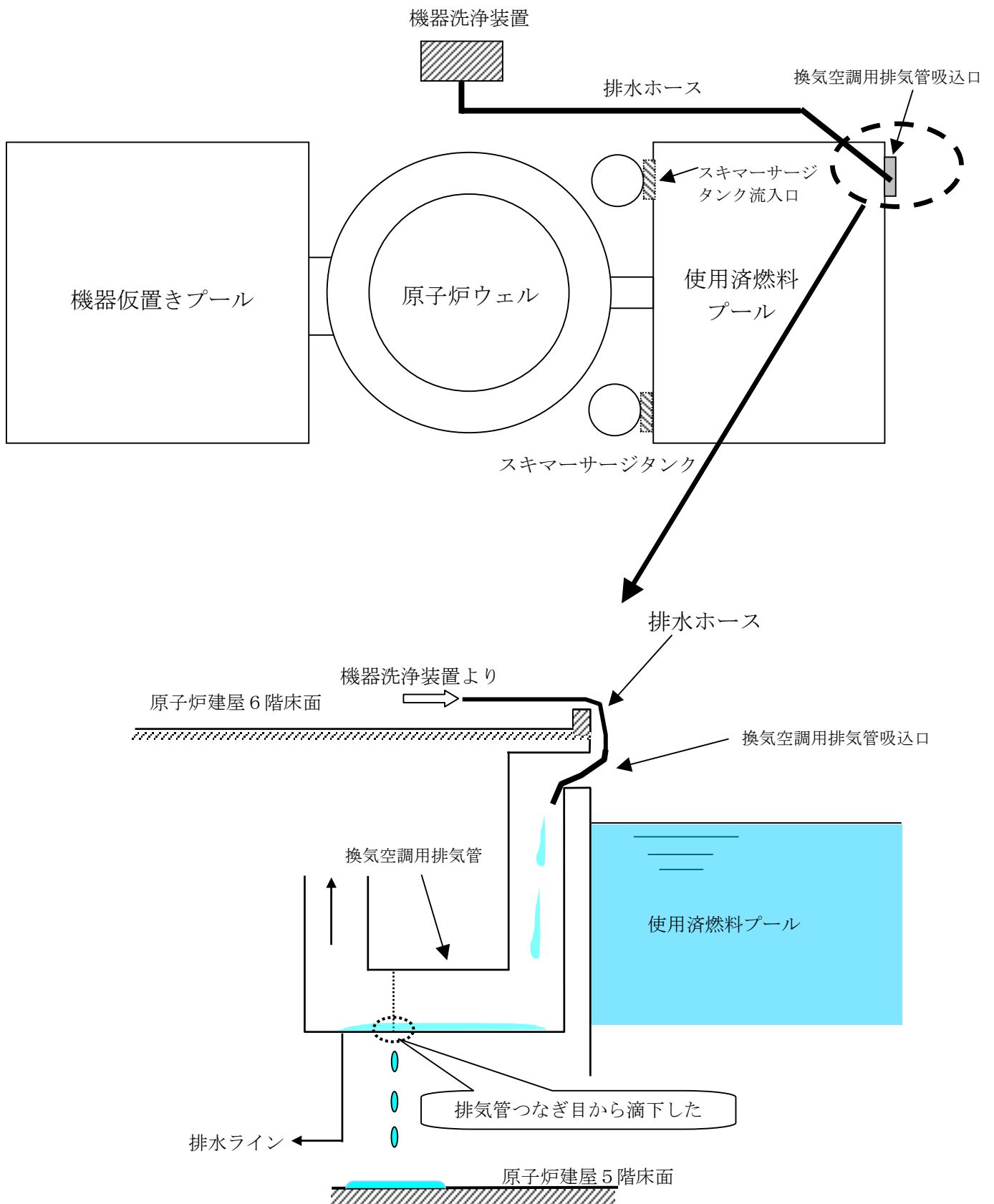
以 上

* 1 プリコートタンク

燃料プール冷却浄化系にあるろ過脱塩器のフィルタに樹脂をコーティングする際に使用するタンク。

* 2 スキマーサージタンク

使用済燃料プールからオーバーフローした水を受けるため設置されているタンク。使用済燃料プールの水は、通常、燃料集合体の冷却および水の不純物を取り除くため、スキマーサージタンクへオーバーフローさせ、熱交換器およびフィルタを通した後、再び使用済燃料プールへ戻している。



6号機原子炉建屋内における水漏れ状況概略図